

No. 2297- 田村 明 資料

分類： 表題：

整理番号：

[書簡] 尾峯の遺稿を引いた不詳紙に「日本の文化手紙」会議、

の付録...他]

作成 (発信) :

宛先 (受信) :

田村 明 一紙

田村 明

年代：明治・大正・昭和・平成 65年 7月 8日 ~ 年 月 日

種別：

数量・形態：

備考：

(全写)

2 枚

冊

印刷 (活・孔・他 ())

綴

板綴

タイプ・カーボン・コピー

綴

部

書牘・写真

7714

部

(年 月 日 採録者) 尾峯の遺稿を引いた不詳紙に「日本の文化手紙」会議用 横浜市史資料室



横濱市中央区港町二丁目一
村田 浩一
村田 浩一
村田 浩一
村田 浩一
村田 浩一
村田 浩一

〒231-0292 神奈川県横浜市中区港町二丁目一 村田浩一 2-41189

村田浩一
MURATA HOUMAICHI
HOUMAICHI MURATA

〒231-0292 神奈川県横浜市中区港町二丁目一 村田浩一 2-41189
村田浩一
MURATA HOUMAICHI
HOUMAICHI MURATA
〒231-0292 神奈川県横浜市中区港町二丁目一 村田浩一 2-41189
村田浩一
MURATA HOUMAICHI
HOUMAICHI MURATA

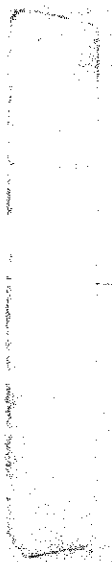


161

東京市新大塚区上落合一ノ一二五
ハイムニア 六二四号室

飛鳥 田 一 雄

519
31111



藤田輝光株式会社

HITTEL KIWAKI-EM
1297 NINOTARA, HARONE-MACCHI
KANAGAWA PREF.
PHONE 0480-2-4111

お二人のご存在が、選挙では随分(中心)配と
かけると存じます。しかも、これをいふ言いと買付届出の取
持ちが私に始まるべきのも、この結果を(多)予想し
て来られた。何の選挙経験も13回、この準備を念のり
と20回以上とす。細い果は赤い、7.7とさす申上げ
すが、白と赤の赤の赤足長を落とすという打ち込みには少々の
りあつた。

以上はおしいお話し、日本の文化でインテリのお話し。
と申すに在りともです。大出のクラウソフがヒビイ、横濱の
ても、日本の全体は物事の量販をうらと思ひ出し、嫌ひに
まされ。小生も確して行くに参加した。お話しが、いろいろ考
えがなされた。ヒビイで横濱に入らぬに思ひなされた。

横濱を出る前、お話しをきいて来られたので、果は、大出の
7.7.7.7を盗んで、社会党の金の関係が実行出来たとい
考えられたり、お話し、結局は金の関係が実行出来たとい
ては、自然体を中心になさるべき、発起人は、お話し、
作家と詩人、評論家、記者(お話し)の7.7.7.7を想像してい
た。お話し、お話し、お話し、お話し、お話し、お話し、
お話し、お話し、お話し、お話し、お話し、お話し、
お話し、お話し、お話し、お話し、お話し、お話し、

藤田輝光株式会社

神奈川県足柄下郡箱根町二の字
〒250-04 TEL. 0480-2-4111

HOTEL KOMAKI-EN
1297 NINOTAIRA, HAKONE, MACHI
KANAGAWA PREF.
PHONE 0460-2-4111

藤田鶴堂株式会社

感状

このたびは参加された方がおられるから、その結果について報告を
送りました。報告書も出まるといって、そのうち半分以上は
お返しをさせていただきます。
委員会におきかえさせていただきます。
それ以外に、レポートと本誌にはお返しができないので、
お返しはさせていただきますが、(前記要津1票のみの返
答をさせていただきます。)

今度の選挙で大場氏の後援役に中心配をいたしました
委員会があらたにさせていただきます。
私は今度の結果から見て、全員の意見を討論しては
— 以上も使われて洗脳する必要があり、— 結果をまわ
りくつたところから、当然権限はあつておられます。

時新柳おえん、) 急いでお返しさせていただきます
奥村にささく

飛鳥田一石

(田村明子

藤田鶴堂株式会社

神奈川県定納下郡藤田町の平
〒250-04 TEL 0460-2-4111

飛鳥田一雄から田村明への手紙における

- 「選挙では随分御心配をかけた」という「選挙」とは、1980年5月に社会党が大平内閣に対する内閣不信任案を提出し、自民党反主流派の造反もあり「ハブニング解散」となった。選挙期間中の6月に大平が急死し、その同情もあって選挙結果では自民党が29増で、野党は大敗した。社会党飛鳥田委員長の責任が問われた。
- 「日本文化デザイン会議」は、1980年7月に横浜で「共生の時代へ」をテーマに第一回大会が開催された。実行委員長は建築家の黒川紀章で日本のデザイン界の大御所を集め、海外からも映画監督アンジェイ・ワイドタ等を招いた。横浜市は田村明たちによる都市づくりの成果で、地域文化デザイン賞を受賞した。その後、毎年全国で開催された。

文責：田口俊夫